

## 2012年3月期 中間決算概要（連結）

### 1. 業績の概況

当中間連結会計期間（自 2011年4月1日 至 2011年9月30日）（単位：億円）

区 分	2011年度 上期実績 A	2010年度 上期実績 B	増 減		2011年度 通期見込	2011年度 当初計画	2010年度 通期実績
			金 額 A-B	% A/B*100			
<b>営業収益</b>	<b>2,740</b>	<b>2,727</b>	<b>12</b>	<b>100.5</b>	<b>6,137</b>	<b>5,669</b>	<b>6,592</b>
<b>高速道路事業</b>	<b>2,490</b>	<b>2,492</b>	<b>▲2</b>	<b>99.9</b>	<b>5,602</b>	<b>5,209</b>	<b>6,079</b>
(料金収入)	2,361	2,289	72	103.2	4,742	4,358	4,422
(道路資産完成高等)	※2 128	※3 202	▲74	63.1	860	851	※4 1,656
<b>関連事業</b>	<b>250</b>	<b>235</b>	<b>14</b>	<b>106.2</b>	<b>535</b>	<b>460</b>	<b>513</b>
(休憩所事業)	192	172	20	111.7	375	372	340
(その他)	57	63	▲5	91.4	160	88	173
<b>営業費用</b>	<b>2,556</b>	<b>2,552</b>	<b>4</b>	<b>100.2</b>	<b>6,072</b>	<b>5,593</b>	<b>6,493</b>
<b>高速道路事業</b>	<b>2,343</b>	<b>2,353</b>	<b>▲9</b>	<b>99.6</b>	<b>5,597</b>	<b>5,199</b>	<b>6,042</b>
<b>関連事業</b>	<b>212</b>	<b>199</b>	<b>13</b>	<b>107.0</b>	<b>475</b>	<b>394</b>	<b>451</b>
<b>営業利益</b>	<b>183</b>	<b>175</b>	<b>7</b>	<b>104.4</b>	<b>65</b>	<b>76</b>	<b>99</b>
<b>高速道路事業</b>	<b>146</b>	<b>139</b>	<b>6</b>	<b>105.0</b>	<b>5</b>	<b>10</b>	<b>36</b>
<b>関連事業</b>	<b>37</b>	<b>36</b>	<b>0</b>	<b>102.1</b>	<b>60</b>	<b>66</b>	<b>62</b>
<b>経常利益</b>	<b>188</b>	<b>178</b>	<b>9</b>	<b>105.4</b>	<b>69</b>	<b>66</b>	<b>111</b>
<b>中間（当期）純利益</b>	<b>112</b>	<b>98</b>	<b>14</b>	<b>114.3</b>	<b>40</b>	<b>39</b>	<b>65</b>

※1 実績金額は、億円未満の端数を切り捨てて表示しております。

※2 2011年度上期実績の道路資産完成高等には、無料化社会実験に伴う国からの負担金（40億円）を含みます。

※3 2010年度上期実績の道路資産完成高等には、無料化社会実験に伴う国からの負担金（75億円）を含みます。

※4 2010年度通期実績の道路資産完成高等には、無料化社会実験に伴う国からの負担金（199億円）を含みます。

（注）事業内容の種類、性質等の類似性、損益集計区分及び関連資産に照らし、以下のように事業区分を行っております。

事業	業務内容	
高速道路事業	建設事業	高速道路の新設、改築
	保全・サービス事業	高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理
休憩所事業	高速道路内におけるサービスエリアの建設、管理及び運営	
その他（関連）事業	受託事業、トラックターミナル事業、占用施設活用事業、物販事業、旅行事業、海外事業、カードサービス事業等	

## 2. トピックス

### (1) 高速道路事業

#### (実施した主な施策)

中央自動車道富士吉田線 都留インターチェンジの改築事業完了。  
(2011年8月10日)

#### (中間期実績)

**高速道路事業の営業利益は146億円を計上。**

○東日本大震災直後からの緩やかな景気回復や料金割引の見直し(※)により、料金収入が前年同期を上回り、増収となりました。

※ 2011年6月19日をもって、休日特別割引の上限(土日祝日 普通車、軽自動車等1,000円)を廃止しています。

#### (通期見通し)

**2012年3月期の高速道路事業の営業利益は5億円となる見通し。**

○次のような季節的な要因により、通期の営業利益は中間期より小さくなる傾向。

- ・収益は、ゴールデンウィーク、夏休みなどを含む上期と比較して、下期の料金収入が少ない。
- ・費用では、雪氷対策や集中工事などの影響を受け、上期と比較して下期の費用が多い。

### (2) 関連事業

#### (実施した主な施策)

お客さまの多様なニーズに応えるべくサービスエリアの複合商業施設化をすすめ、移動の通過点に過ぎなかったSAから、目的地として選ばれる新しいスタイルのSAへの変革を目指し、EXPASA(エクスパーサ)として昨年度オープンした5箇所(※)に加え、「EXPASA海老名(上)」、「EXPASA談合坂(下)」の2箇所を新たにオープンしました。

◇ 中央自動車道EXPASA談合坂(下)	I期オープン	6月16日
	II期オープン	8月10日
	グランドオープン	11月25日
◇ 東名高速道路EXPASA海老名(上)	I期オープン	7月30日
	II期オープン	8月10日
	グランドオープン	12月15日

※ 2010年度中には、東名阪自動車道EXPASA御在所(上・下)、東名高速道路EXPASA足柄(上・下)、名神高速道路EXPASA多賀(下)の5箇所をオープンしています。

#### (中間期実績)

関連事業の営業利益は37億円を計上。

#### (通期見通し)

2012年3月期の関連事業の営業利益は60億円となる見通し。

※ 上記1業績の概況、2トピックス中の業績予想(通期見通し)は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要素により、上記予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上